

薬剤部DIニュース・ICT/ASTニュース合併号

薬剤部からのお知らせ2023 No.35 2023年10月2日発行

オーグメンチン配合錠の供給量が低下しています

昨今、医薬品の供給が不安定となっていますが、**全国的な感染症増加に伴い、オーグメンチン配合錠（アモキシシリン/クラブラン酸）の需要が急増しており、医薬品の供給が追いつかない状態です。**

○グラクソ・スミスクライン株式会社からの案内（一部を抜粋）

「オーグメンチン配合錠 125SS・250RS」限定出荷のご案内とお詫び

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が製造販売する「オーグメンチン配合錠 125SS・250RS」について、需要増加に加え他社製品の限定出荷の影響を受け、すべてのご要望にお応えすることが難しい状況となっております。つきましては誠に恐縮ながら 2023 年 7 月より限定出荷とさせて頂きたく存じます。通常出荷再開の時期につきましては、見通しが立ち次第改めてご連絡申し上げます。

【対象品目】

製品名	包装単位	統一商品コード	出荷量の状況	製造販売業者の 対応状況	限定出荷時期
オーグメンチン配合錠 125SS	30 錠 (6 錠/PTP× 5)	246718219	A	③ 限定出荷 (他社品の影響)	2023 年 7 月
オーグメンチン配合錠 250RS		246718226	B		

*日薬連発第 137 号をもとに記載致しました。

A.出荷量通常：比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね 90%以上 110%未満の出荷状況

B.出荷量減少：比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね 90%未満の出荷状況

現時点では今後の供給量は半減する見込みです。

また、オーグメンチン配合錠は、海外製造所のみで製造しており、短期で増産が難しいため、通常**出荷再開は最も早くて2024年4月以降**となっています。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。（文責：北川）

ICT / AST ニュース

ICT/AST-2023-7(2023年10月)

オグメンチン配合錠が選択薬となる 主な病態における代替薬

- ・対象となる患者を見極めて抗菌薬を使用する
- ・感染臓器、原因微生物を想定して代替となる抗菌薬を選択する
- ・代替となる抗菌薬の使用法、使用上の注意点について理解する

病態		原因微生物	代替薬
急性単純性膀胱炎 (閉経前)		グラム陰性菌 (<i>E. coli</i> が約 65%)	・セファレキシン
高齢女性(閉経後)の 膀胱炎		グラム陰性菌 (<i>E. coli</i> が約 83%)	・セファレキシン
菌性感染症	膿瘍なし	口腔内連鎖球菌	・クリンダマイシン
	膿瘍あり	口腔内連鎖球菌 + 嫌気性菌	・セファレキシン + メトロニダゾール
市中肺炎(外来治療)		<i>Streptococcus pneumoniae</i> <i>Haemophilus influenzae</i> <i>Moraxella catarrhalis</i>	・レボフロキサシン ・セファレキシン ± アジスロマイシン * 非定型肺炎の可能性がある 場合は、セファレキシン単剤 では治療しない
急性中耳炎(小児)		<i>S. pneumoniae</i>	・アモキシシリン
急性副鼻腔炎(小児)		<i>S. pneumoniae</i>	・アモキシシリン
咬傷		<i>Pasteurella multocida</i> <i>Pasteurella canis</i> 等	・ST合剤 + クリンダマイシン
手術部位感染		MSSA <i>Streptococcus pyogenes</i>	・セファレキシン

病態		原因微生物	代替薬
伝染性膿皮疹	水泡性膿皮疹	<i>Staphylococcus aureus</i>	・セファレキシン
	痂皮性膿皮疹	<i>S. pyogenes</i>	・アモキシシリン
ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群（軽症）		MSSA	・セファレキシン
丹毒（軽症）		<i>S. pyogenes</i>	・アモキシシリン
潰瘍・創面などの二次感染（中等症、外来治療）		原因菌は多岐にわたる	・クリンダマイシン ・セファレキシン ＋メトロニダゾール

<上記した代替薬の商品名（当院採用薬のみ）>

- ・セファレキシン : ケフレックスカプセル250mg、ケフレックスシロップ用細粒200
- ・クリンダマイシン : ダラシнкаプセル150mg
- ・メトロニダゾール : フラジール内服錠250mg
- ・レボフロキサシン : クラビット錠250mg、クラビット錠500mg、
レボフロキサシン錠500mg「DSEP」
- ・アジスロマイシン : ジスロマックカプセル小児用100mg、ジスロマック細粒小児用10%、
ジスロマック錠250mg、ジスロマック錠600mg
- ・アモキシシリン : アモキシシリンカプセル250mg「トローワ」、サワシリン細粒10%
- ・ST合剤 : ダイフェン配合錠、バクタ配合顆粒、バクタ配合錠、バクタミニ配合錠

今回、同薬剤が供給不安定になった原因としては、5月8日以降の状況の中で本来**抗菌薬が不要なウイルス性の上気道感染症に抗菌薬を使用**されたことが少なからず影響していると考えます。上記以外の場合でもオーグメンチン配合錠以外に選択薬がないか、また、**本当に抗菌薬が必要であるか**、もご検討ください。

オーグメンチン配合錠だけに限らず、**抗菌薬についてはAST（PHS：6961）へご相談ください。**

（文責：丹羽）